ジャンプアップ中里 (第26号)
佐世保市立中里中学校だより　平成 29 年 10 月 30 日

校　訓「自主・実践・創造」
学校教育目標『学び合い・磨き合い・鍛え合う生徒の育成』

◎　その体験で何を学んだか？

～野外宿泊学習(１年生)・職場体験学習(２年生)～

10月25日(水)～27日(金)、1年生は烏帽子青少年の天地で「野外宿泊学習」を、2年生は市内46箇所の事業所で「職場体験学習」を行いました。

私が中学生の頃(もう40年以上も前ですが)には、学校では先日行われた「合唱コンクール」も、「野外宿泊学習」「職場体験学習」もありませんでした。それは、学校で体験学習を仕組まなくても、夏休みには町内の子ども会で島に海水浴に行ったり、学校から帰ると毎日暗くなるまで、近所の異年齢の子どもたちと「ゴムとび」や「コマ回し」で遊ぶことで、自然と体験学習ができていたからだと思います。また、秋には町内対抗の大運動会が開催されるなど、地域の中で子どもたちが育っていたようにも感じます。しかし、時代の流れとともに「少子化・核家族化」が進み、地域コミュニティも衰弱化してしまいました。そしてそのことが、人間関係をうまく作れない、集団生活に適応できない子どもの増加や、規範意識の低下、物事に創意をもって取り組む意欲の欠如など、深刻化する新しい教育課題を発生させ、その対応が学校にも求められるようになりました。

2年生で行った職場体験学習は、将来の自立に向けて貴重な職業体験になったことだと思います。初めての経験には戸惑いや不安は当然です。各事業所からは、生徒たちの熱心で意欲的な取組に賞賛の声もいただきました。しかし、あいさつや接待の声の大きさやコミュニケーション力、職業に対する意識の向上にはまだまだ課題も見られ、キャリア教育の充実を図る必要も感じています。受け入れていただきました事業所の皆様には、事前の準備から当日のご指導まで大変ご迷惑をおかけしました。ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

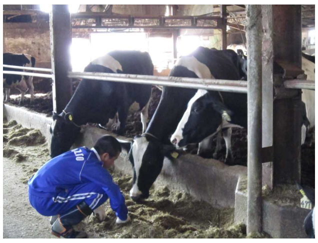
また、1年生の「野外宿泊学習のしおり」には、その目的が次のように書いてあります。

- 集団での宿泊体験活動を通して、**ルールに従って生活すること**や、**人を思いやり、目標に向かってみんなで協力して取り組むこと**の大切さを学ぶ。
- 家庭や学校を離れた生活の中で、普段、多くの人の支えで豊かで恵まれた生活が送れていることに**感謝の心**を持つ。

学校での指導に加えて、ご家庭でも折に触れてお声かけいただき、連携を図りながら子どもたちの健やかな育成にご協力いただきますようお願いいたします。

【野外宿泊学習の様子】

【職場体験学習の様子】



◇11月前半の主な行事予定◇

1日(水)	**授業研究会**	(長崎大学の先生にご指導いただきます)
3日(金)	**文化の日**	(後期中間テストのため、この日から部活動は８日(水)まで練習を休みます)
6日(月)	**3年生三者面談(～24日)**	(いよいよ進路決定のスタートです)
	黒島中学校交流学習	(黒島中の生徒６名が中里中で交流学習を行います)
8日(水)・9日(木)	**後期中間テスト**	(３年生のみ１０日(金)まで行います)
12日(日)	**２１回つんのーで歩行ラリー**	(たくさんのご参加をお待ちしています)